

Military series Vol.5

2017

Calendar

本

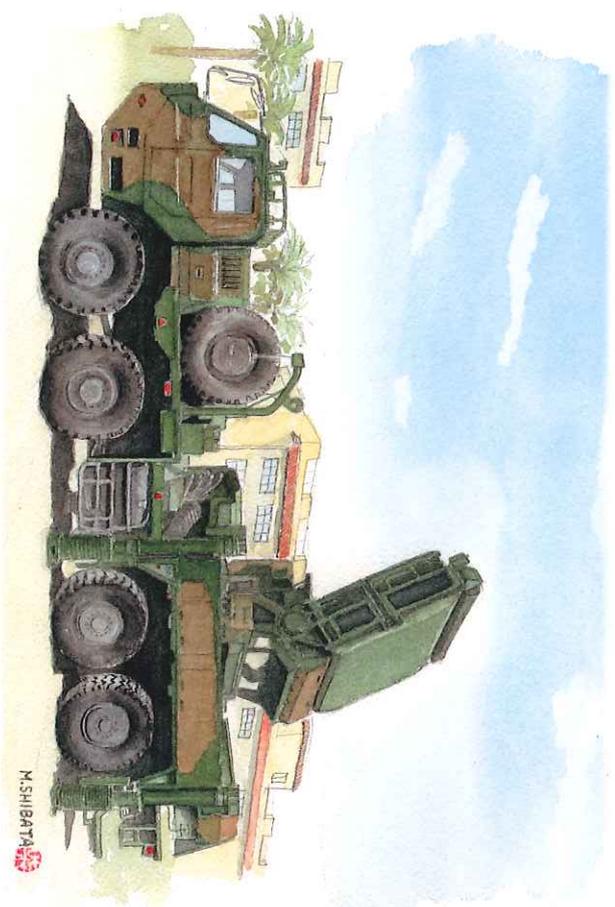
見



MSBATA



MSBATA



MSHIBATA



1月 「海上自衛隊P-3練習機」

P3Cなどのパイロット養成のための練習機なので、操縦席は並列配置で教官が横に座る。操縦性が良いため海自の曲技飛行チームも使用している。最近ではP3C機長や戦術航空士を目指す女性も多く、彼女たちもこのT5で操縦訓練を受ける。



2月 「73式トラック(3ト半)」

一昔前の普通科隊員にとっては、3ト半は本場に頼りだった。これに乗せてもらえば歩かなくて済むし、水や食料もこの3ト半が運んでくれる。まさに救いの女神だ。現在も災害派遣から各種演習訓練そして陸自の物流を確保する輸送力として大活躍。すでに40年以上にわたり生産され、その間改良を重ね、今や世界の超一流シカリートラックと言える。



3月 「E2C 早期警戒機」

米海軍が艦載機としても使用しているため、主翼がたためるようになっていた。航空自衛隊も格納庫内や駐機場では折りたたんだ状態でいる。背中に乗せた円盤型レーダーが外見上の特徴である。強力なレーダーは低空進入機の早期発見、同時多数目標の追尾、激撃行動の管制などができる。また地上レーダーサイトとの機能の代替など日本の航空作戦には欠かせない航空機である。



4月 「LCC」

おおすみ型輸送艦のワエルツキから発進し、砂浜等平坦地であれば陸上も前進でき、港湾の無い海浜への上陸作戦にはうってつけの装備だ。離島防衛や奪回作戦はもちろん、災害派遣、国際貢献などにも運用され、東ティモールでの任務や東日本大震災派遣にも多くの物資を揚陸し、大いに活躍した。



見本

5月 「93式近距離地对空誘導弾」

一昔前は対戦車戦闘が陸上作戦の中核だったが、今や対空戦闘とそのため防衛組織の防衛が陸戦の要だ。対空戦闘手段が有効である限り地上部隊の侵攻は困難である。この93式近距離対空誘導弾は高機動車の車体に91式携帯対空誘導弾を車載型にして搭載している。



6月 「CH-47」

CH-47は、1960年代から活躍している大型輸送ヘリコプターだが、なんども改修をうけ、エンジン出力も強化され、現在も第一線で活躍している。陸自も輸送ヘリとして多数装備している。空自のCH-47は、離島、山間地などにあるレーダーサイトなどに物資輸送をするなど日本の空域の安全確保に大きな貢献をしている。



7月 「DD-110たかなみ」

たかなみは、たかなみ型護衛艦のネームシップで、護衛艦隊の中核ともいえる艦である。ヘリ1機を搭載し、対潜水艦作戦はもちろんだが、対水上艦、対空、対ミサイルなどの能力も高い。砲の口径は127mmで地上目標への火力も強化された万能護衛艦といえる。



8月 「03式中距離地对空誘導弾射撃用レーダー」

別名03式中サムは陸自防空力の要である。極めて多数の目標を補足し同時に交戦できるのはこのアクティブフェーズドアレイレーダーの能力に負うところが大きい。誘導弾を搭載しているのと同じ重裝輪車にレーダーを搭載して誘導弾車と行動を共にできる。夏の那覇駐屯地で展示された時の状況を描いた。



9月 「U-4」

U-4は、指揮連絡、VIP輸送などに使用されている。ビジネスジェットとして設計された機体でなかなか流麗なスタイルだ。航空自衛隊の航空機の中でも軍用機とは違う美しさがある。人間から那覇へ移動する予定のところ、悪天候が予想されたがU-4なら可能ということで、入間基地で同機へ乗客が搭乗するシーンを描いた。



10月 「F-35ライトニングII」

空自の次期主力戦闘機F-35はシングルエンジンで、かなりコンパクトな機体。ミサイルなどは機体内に収めステルス性を向上させている。もちろん機外にもハードポイントを持ち、対空戦闘のほか対地、対艦能力も高いマルチロール機である。絵は、米国での機体受領に引き続く米国訓練空域での飛行訓練の様子をイメージして描いたもので、機体塗装も現時点では未定。



11月 「防衛大学校開校祭」

開校祭における観閲パレードで、大隊幕僚と共に行進する大隊学生長。自衛隊も女性自衛官が活躍する時代。防大では少数精鋭で女子学生も頑張っている。



12月 「10式戦車」

陸自の主力戦車で、CAI機能搭載による戦車相互の目標情報共有や、射撃統制装置の進歩で、複数目標に対する小隊の同時協調射撃が可能になった。射撃精度は米国での最大射程射撃を見た米軍将校も驚くほどの素晴らしさを持っている。火力・機動力・防護力ともに世界最高水準の戦車である。スラロームしながらの行進間射撃の瞬間を描いた。



防衛大学校開校祭

見本

11

November-2017

Military series Vol.5

霜月

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
29	30	31	1	2	3	4
			立冬			
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
			小雪	勤労感謝の日		
26	27	28	29	30	1	2